



宮之脇 金次郎 議員

少子化対策は十分か

町長/十分とは考えていない



▲紫尾区座談会（紫尾区公民館）

宮之脇 少子化問題に関しては、全国的に深刻化されている。本町も長期にわたる対策が重要と考えるが、十分であるか。

町長 次世代育成支援行動計画に基づき、子育て支援、教育環境の整備、生活環境の整備など、八分野のなかで、各種事業を実施していますが、これで十分とは考えていません。対策の趣旨と基本的視点は、概ね国と同じです。今後一層の努力をしていきます。

地域公民館設備対策は

町長/総合的に検討

宮之脇 今後地域の活性化が重要課題となるが、拠点となる公民館が老朽化し、活動に支障をきたしている。どう対処するか。

町長 施設整備については、地域の実情や実態等を十分考慮し、振興計画を十分考慮し、並びに地域審議会等の議論を経て、総合的に検討していきます。なお、区公民館等施設整備事業補助制度を取り入れ、補助金の額を規定しています。

どうなる中心市街地

町長/側面からの支援を考える



柏木 幸平 議員



▲虎居商店街

柏木 土地区画整理事業の断念により、商店街の維持・存続は厳しい。早い段階での有効な事業実施が必要。町長の施政は、

町長 短期間で何らかの成果がでるような事業の実現に向けて取り組んでいくことが重要であると思っています。事業の費用対効果や効率性等を考え、厳しい財政状況のなか、有利な補助事業を導入し、実現に向けて研究します。

新町の学校教育方針は

教育長/地域に根ざした教育

柏木 これからの社会環境・教育環境で育つ、新町の小・中学校19校、約2300人の子どもたちの教育方針を伺う。

教育長 環境は人をつくると言われるように、子どもたちが健全に育つ環境づくりをすることが重要と考えます。県の基本方針・重点施策を踏まえ、「郷土の教育的な伝統や風土を生かした全人教育、生涯学習の推進」に努めます。